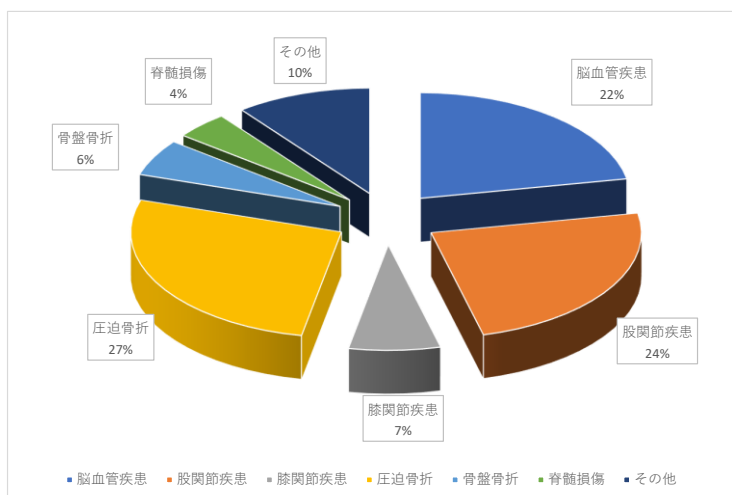


和仁会病院 回復期リハビリテーション病棟実績報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間に当院回復期リハビリテーション病棟に入院された患者(413例)について内容を分析したので、ここに報告します。

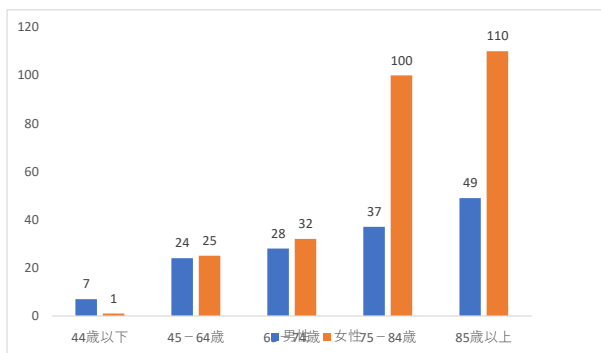
1 対象者内訳

①疾患割合

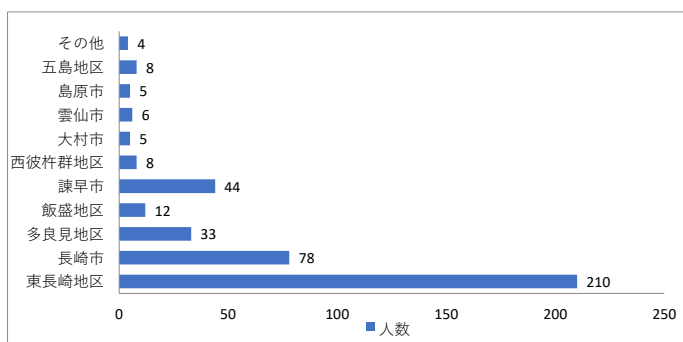


②年齢割合

	男性	女性
44歳以下	7	1
45-64歳	24	25
65-74歳	28	32
75-84歳	37	100
85歳以上	49	110
合計	145	268
平均	74.6	80.9



③自宅の地域



	人数
東長崎地区	210
長崎市	78
多良見地区	33
飯盛地区	12
諫早市	44
西彼杵群地区	8
大村市	5
雲仙市	6
島原市	5
五島地区	8
その他	4
合計	413

当院が東長崎地区にあることもあり、東長崎地区の方が大半を占める中、長崎地区の方も入院されています。また、病院周辺だけでなく、遠方からの入院もあります。

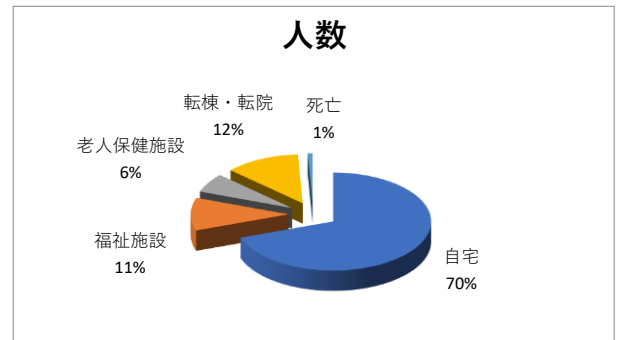
状況により異なりますが、遠方からの方にも可能な限り自宅訪問を行い、その環境に合わせた目標を立て、円滑な退院が出来るようサポートしております。

2 実績報告

(実績報告は入院中の患者を除く n=378)

①退院割合

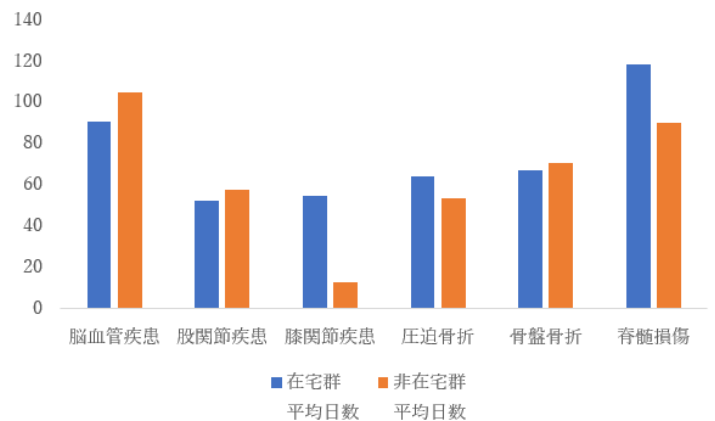
	人数	割合
自宅	263	69.7
福祉施設	41	10.8
老人保健施設	24	6.3
転棟・転院	47	12.4
死亡	3	0.8
合計	378	100%



退院先は、自宅への退院が全体の約70%、福祉施設への退院が約11%という結果になっています。
福祉施設にはグループホーム・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス等が含まれます。

②在院日数

	上限日数	在宅群 平均日数	非在宅群 平均日数
脳血管疾患	150or180	90.9	104.9
股関節疾患	90	52.2	57.5
膝関節疾患	90	54.8	13
圧迫骨折	90	64.3	53.4
骨盤骨折	90	67.1	70.7
脊髄損傷	150	118.2	90



回復期リハビリテーション病棟の入院上限日数は、脳血管疾患で、高次脳機能障害がある場合は180日、高次脳機能障害がない場合は150日となっており、運動器疾患は90日となっています。

上の表は各疾患を在宅群と非在宅群に分け、各疾患の平均在院日数を表したものです。

個人差による身体レベルや退院先の環境に応じて在院日数は異なります。

退院前には住宅改修や試験外出・外泊等を行い、退院後の生活がスムーズに送れるように環境の調整も行います。

またデイサービスやデイケアなどのサービス調整や外来リハビリテーションなど退院後のサポートも行います。

当院における回復期リハビリテーション病棟は365日稼動しており、入院中は毎日リハビリテーションを提供しています。

※FIMとは

FIMとは、機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）の略であり、日常生活活動を7点満点（表1）の18項目（表2）で評価したもので、全項目完全自立の場合126点、全項目完全介助の場合18点となります。

一般的に器具などを使用しての修正自立の場合6点と評価し、合計100点付近（認知項目を含む）が在宅復帰の目安とされています。（各項目見守りだと90点であり、100点前後とは見守り～自立レベルとなります。）

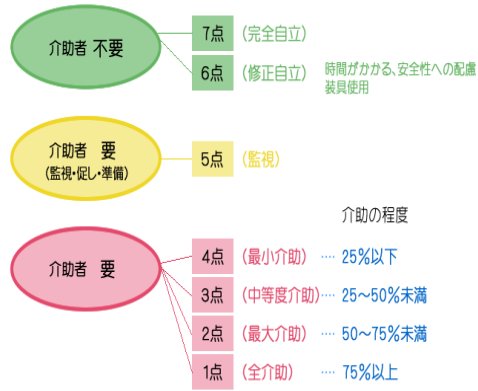


表 1

大項目	中項目	小項目
運動項目	セルフケア	① 食事
		② 整容
		③ 清拭 (入浴)
		④ 更衣 (上半身)
		⑤ 更衣 (下半身)
		⑥ トイレ動作
	排泄コントロール	⑦ 排尿動作
		⑧ 排便動作
	移乗	⑨ ベッド・椅子・車椅子
		⑩ トイレ
		⑪ 浴槽・シャワー
	移動	⑫ 歩行・車椅子
⑬ 階段		
認知項目	コミュニケーション	⑭ 理解
		⑮ 表出
	社会的認知	⑯ 社会的交流
		⑰ 問題解決
		⑱ 記憶

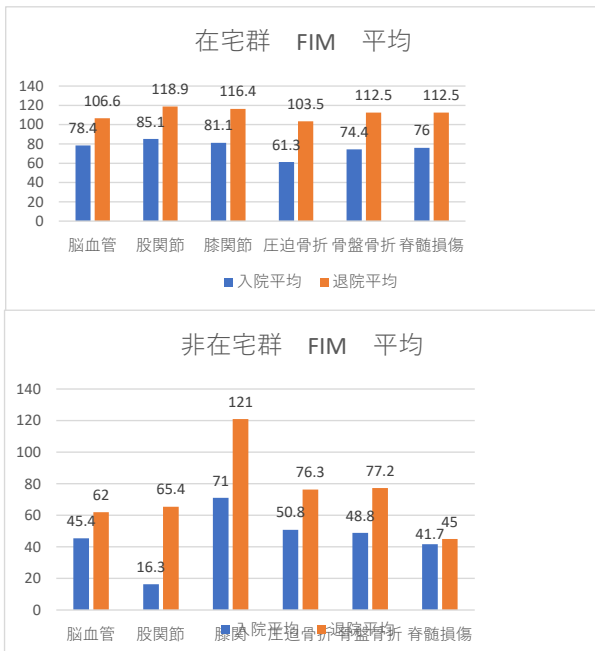
表 2

③当院におけるFIM指数の変化

当院の昨年度退院者413名のうち下記疾患6グループに分け、6グループに含まれないその他の疾患、かつ急変・死亡を除く346名を対象に、在宅群・非在宅群に分けて入院時・退院時FIMの比較を行いました。

退院時平均は在宅群が平均111.7点で非在宅群が74.5点と大きな差が見られました。退院時FIMにおいて、非在宅群の多くが100点未満なのに対して、在宅群では6グループとも100点を上回る結果となっています。入院から退院までの利得(数値が高いほど改善している)は下の表に示しております。

(FIMはあくまで一つの指標であり、退院時に100点を超えないと在宅復帰できないというわけではありません。グラフは平均であり、退院時に認知項目を含めて100点を超えていなくても、環境やサービスの調整、ご家族の協力などにより在宅復帰された方も数多くおられます。)



		入院平均	退院平均	利得
在宅群	脳血管	78.4	106.6	28.2
	股関節	85.1	118.9	33.8
	膝関節	81.1	116.4	35.3
	圧迫骨折	61.3	103.5	42.2
	骨盤骨折	74.4	112.5	38.1
	脊髄損傷	76	112.5	36.5
非在宅群	脳血管	45.4	62	16.6
	股関節	16.3	65.4	49.1
	膝関節	71	121	50
	圧迫骨折	50.8	76.3	25.5
	骨盤骨折	48.8	77.2	28.4
	脊髄損傷	41.7	45	3.3